

特定非営利活動法人

# Newsletter

介護の社会化を進める

# MIYAGI

一万人市民委員会宮城県民の会

## 第116号

[平成28年1月1日]

\*\*\*\*\* 発行人 \*\*\*\*\*

特定非営利活動法人

介護の社会化を進める一万人市民委員会宮城県民の会

代表理事 大川 昭雄



### 地域包括ケア「千里の道も一歩から」

代表理事 大川 昭雄



「互助」「公助」から「百助」「互助」と一体となった真に利用者のための地域包括ケア「づくりも、いよいよ具体化の段階に入りました。  
ここで、もう一度、一万人

市民委員会の結成目的を考えてみましょう。

まず「介護地獄からの解放」、これは、介護保険法の制定で達成されました。

「介護の社会化」は、「地域包括ケア」の目的である「普遍主義の思想」を介護認定を受けていけば、ナースコールと30分〜60分、24時間、通常の利用料金でケアまたは介護が受けられる（をぎりぎり追求してはじめて達成されるものだと思います）。

この「普遍主義の思想」に賛同し、第一歩からスタートします。「地域包括ケア」では、国も、県市町村も、関連施設も、地域も、NPOも当事者です。誰も傍観者はおりません。

「互助」「公助」「百助」「互助」一体となったこの「地域包括ケア」は、第一歩とはいえず、利用者のための究極の「社会化」の第一歩です。

「山の彼方の空遠く辛い住むと人の言う」「われ人と尋ね行きて涙さしぐみ帰り来ぬ」「山の彼方のなお遠く辛い住むと人の言う」

千里の道も一歩から「より良いものを目指し、一歩一歩粘り強く追い求めるのが一万人市民委員会宮城です。」

#### ◆地域包括ケアシステムってなあーに？

○ 団塊の世代が75歳以上となる2025年を目途に、重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、**住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築を実現**していきます。

○ 今後、認知症高齢者の増加が見込まれることから、認知症高齢者の地域での生活を支えるためにも、

地域包括ケアシステムの構築が重要です。

○ 人口が横ばいで75歳以上人口が急増する大都市部、75歳以上人口の増加は緩やかだが人口は減少する町村部等、**高齢化の進展状況には大きな地域差**が生じています。

地域包括ケアシステムは、**保険者である市町村や都道府県が、地域の自主性や主体性に基づき、地域の特性に応じて作り上げていく**ことが必要です。

(厚労省資料抜粋)

「小さな一歩」

阿部 津久子



私は、60代になったら何か新しいことに挑戦したいと考えておりました。そんな折、友人からこの会のことを教えてもらい、介護について知りた

いという思いもあり、この会に入会させていただくことになりました。

介護の知識はゼロ。講習を受けても分からないことだらけ。資料に目を通してあっという間に忘れてしまい、こんな調子で私にできるのかしら…と不安がつのりしました。「大丈夫、ゆっくりでもいいから、リラックスしていきましょう。」と優しい先輩方のアドバイス。とにかくやってみよう！！と一歩前に進むことができました。

各事業所を訪問し確認する調査員の仕事は、地道でコツコツしかし介護保険制度において大切な役割を果たしていることを実感し、微力ながらその活動に関われたことに感謝しております。

今はまだ、未熟な私ですが調査員として信頼を得られるように真摯に取り組んでいきたいと思ひます。

社会の仕組みとともに医療も介護も変化している今日のんびり老後というわけにはいかない。常に社会の状況を受け止めながら、柔軟に自分らしく歳を重ねていきたいと思ひております。

「心を込めて」

猪狩 喜美子



昨年、10年近くデイサービスを利用しておりました88才の母を看取りました。母は認知もありそれなりに大変な毎日でしたが、

今では楽しい思い出だけが残っており、私の大切な宝物となっています。現在は、週2回デイサービスに通っております96才の父との生活で、正に老老介護です。

今回このようなお仕事を紹介していただきましたが、長い間使用していなかった思考回路が鈍く、とても不安でした。

夏からの何回かの研修では久しぶりに学生気分を味わうことが出来ましたが、案の定似たような用語の理解に苦しみましたが、皆様の心暖まる励ましに押されながら、何とか終えることが出来ました。

今迄は、サービスを受ける側だけでしたが、提供する側のそれぞれの事業所の目的、役割等を知る事で、以前より「介護」を身近に感じ、誰もが避けて通れない「老い」について、より真剣に考えるようになりました。

まだまだ未熟ではありますが、心を込めて努めたいと思ひます。

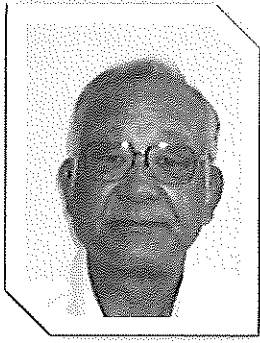
今後ともよろしくお願ひします。

地域包括ケア「千里の道も一歩から」  
「共助・公助」から「自助・互助」へ

～～ 皆さん 頑張っています！ ～～

## 「古稀を迎えた私」

伊藤 正義



今振り返ってみれば私の「人生 71 歳感動、感謝、感激、感涙」であった。人生下り坂であるが自分に出来るかもとして目標を定める事にした。宮城県指定調査員養成機関各種別毎の講座を受け当初は項目の内容解

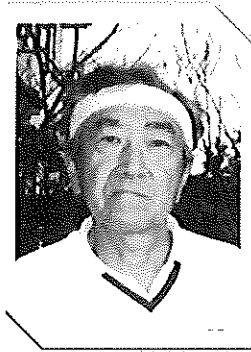
説や調査の留意点等で何度も挫折しそうになりながら無事終了した。今年度から新人として「介護サービス情報の公表」制度の調査員になり実際の訪問調査を実施しております。調査員マニュアルを何回も読み直しては調査にあたっておりますが主任調査員にアドバイスを頂きなんとか調査を終えております。

会員になり沢山の事を再確認させて貰っております。日本人の平均寿命が男女とも80歳を超え健康寿命男性で71.31歳です、一方家族構成の変化等により若い世代が従来より多くの高齢者を支えなくてはならない事も学んだ。介護に関わる心構えや環境づくり、家族での介護における知識、また介護サービスや利用方法等々まずは「要介護」を予防するのが大事と。そして要介護にならない為に人とのコミュニケーション、趣味やボランティア活動、ウォーキング等の運動を行い脳を活性化させると言われる事も大切と！！

私事ですが二人の母方が介護が必要となり在宅で訪問介護、看護など利用しながら介護サービスを受けたが、家族で介護すると言うことは言葉では言い尽くせないくらい大変な事だ、私はまだ現役時代で妻が体や心が悲鳴を上げてしまう時、ショートステイや介護保険のサービスを利用して介護する事も必要とケアマネや包括支援センターに薦められて休息をとれるようになり大変助けてもらい感謝した、世界一の長寿国、高齢化が進む日本では特別でもなく誰でも通ることなので、社会生活とどう向き合っていけばいいのか、そして社会参加し目的を持つことが大事との各講師に講義を受けさせてもらった。

## 「還暦を迎えての心がけ」

戎野 邦夫



還暦を迎えた頃、何か行動するたびに心も体も老いてきたことを意識させられ、健康の大切さを身に染みて感じました。

これからの人生で老いから逃れることはできませんが、少しでも長く健康な人生を過ごそうと思い、

心がけていることがあります。

一つめは、社会への関わりを続けることで、三年ほど前から町内会の役員として地域のコミュニティ活動に参加し、また今年から、こころ市民委員会で介護の勉強を始めました。

二つめは、趣味を続けることで、家庭菜園とバドミントンは二十年以上になります。囲碁と将棋は新聞とテレビ観戦が主ですが、たまの実戦に備えて真剣に見ております。

また、趣味というか街の明かりが忘れられず、週に一回程度と減りはしたものの、旨い肴で一杯、気が向けばカラオケと楽しんでおります。

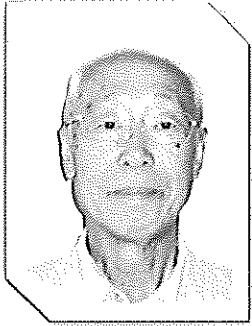
そして三つめは、これらを続けるために、毎日柔軟体操・ストレッチに励んでおります。最初は三分程度でしたが、年とともにカバーしなければならぬところが増え、今は二十分くらいになりました。体調の良いときは何でもありませんが、たまに飲み過ぎた次の日などはきつく、それでも何とか頑張っています。

私は事業者の調査はまだ数箇所ですが高齢者を地域の特徴に合わせて介護予防を「地域で防ぎ地域で支える」事をテーマに努力されていることに感動しました、この気持ちがあれば高齢者全体や子育て中の人に優しい街が構築されるだろうと感じた。

歳のせいだと諦めずに介護予防講座で会得したのを参考に、これからの予防の姿として町内で暮らし続けるための居場所、集い場、支え合いサービス活動支援をしていきたいと考えております。

## 「久しぶりの出会いから」

大沼 孝魂



私が一万人市民委員会の方々と出会ったのは、宮城県が主催する福祉サービス第三者評価調査者養成研修に参加した時で、確か平成22年2月であったと思います。

研修が終わってから一万人市民委員会の前田さんに案内していただいて、メンバーの皆さんを紹介していただきました。

その後は、私もまだ勤務していたので一万人市民委員会とは途切れた状態になりました。

27年の3月6日第三者評価員継続研修を受講した折、しばらくぶりで前田さんと再会することになり、その時一万人市民委員会へ入会するよう勧められ入会しました。

それから介護サービス情報の公表の調査員研修を受講し、また外部評価も受講しましたが、外部評価のほうは途中都合悪く完了することができませんでした。9月に介護サービス情報の公表の同行訪問を終え、10月に初めての調査を佐藤清さんと一緒に老健施設とデイケアの2か所を午前と午後行いました。

佐藤さんは、手際よく次々と確認し終了しましたが、午後から私が聞き役になり確認させていただきました。イメージと違い思い通りにいかないところが多く、戸惑いましたが何とか無事終了することができました。

26年の3月に第2の職場、村田町社会福祉協議会を65歳で定年退職して4月からは永年の仕事から解放され、続けてきたスキーに登山に没頭しました。

26年は家内と2人で北海道の日本百名山九座と南アルプス六座を登り、翌27年も家内と九州・四国・山陰・近畿の十三座と中央アルプス三座を登りました。

これからも残り三十座を登り100名山達成を目指すつもりです。と同時に新たなジャンルである一万人市民委員会のメンバーとして先輩諸兄のご指導を仰ぎ介護サービス情報の公表調査をしっかりできるよう頑張りたいと思います。

ご指導よろしく願いいたします。

## 「専業主婦卒業・・・」

大内 高枝

夫の転勤で仙台に移動になったのは2回目でした。

仙台市民になろうと夫と決め、移動しないのなら働きたいと思ったのが49歳。なんの資格を持たない私が仕事につけたのが、ホームヘルパーの仕事でした。

主婦だった私は問題なく仕事をこなせると思っていたのですが、利用者様に「シュウマイを作って」と注文された時(家族からあまり好評でなかった)、「作り方わかりません」と言うと、教えてあげるからとのこと。今は時間がなくて出来ないし、若いヘルパーさんは携帯の料理をアクセスし基本的に作っている。それから利用者さんも私の出来ない料理を聞き、教えることを楽しみに元気になり待っていてくれました。

その後、サービス提供責任者、介護福祉士取得、介護支援専門員取得し56歳からケアマネジャーとして働き、65歳ついに定年を迎えてしまいました。

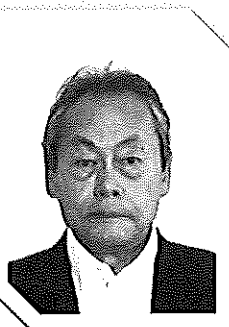
せつかく福祉の世界に入り、楽しく仕事ができているのに離れたくないと思っていた時、事業所に一万人市民委員会の方が「情報の公表」の調査に来られ、「この仕事をしてみたい」と心動かされ、直接事務所に電話をかけ、仲間入りをお願いをしました。

今後、直接高齢者様と触れることはないと思いますが、少しでもよい事業所を確認し、福祉の世界に触れていられる思いを継続できると嬉しく思います。

先輩たちに追いつくように頑張りますのでご指導よろしく願いいたします。

## 「宜しくお願いします」

伏見 友好



愚直に自然体で前向きに足手まといに、ならないよう調査員活動に取り組んで行きたいので、よろしくご指導のほどお願いいたします。

「共助・公助」から「自助・互助」へ「地域包括ケア」「千里の道も一歩から」

## 「知識皆無からのスタート」

菅根 務



先輩より「介護等に関する調査の仕事をやらないか？」と声をかけていただいたことから、介護や福祉に関する知識は皆無の状況でありながら、6月下旬の『情報の公表』の研修から始まり、7月から9

月までの『外部評価調査員』研修を受講した次第ですが、今となっては家内が病気と闘っていた時点等の「もっと早い段階で知っておきたかった」と感じている次第です。

10月に入り新人の調査員として諸先輩各位にはご迷惑をおかけしているところですが、介護サービスを提供する事業所の皆さんや、事前に知ることができる当公表制度を利用する皆さんの一助となれることと、自分自身の今後のためにも精一杯勉強しながら頑張りたいと思っておりますので、ご指導のほどよろしくお願いたします。

## 「スーパーじじ」と呼ばれて

吉野 勝美



先日、長男の嫁さんが「塾でこんなを書いてるんですよ」と笑って置いていった。それは孫が書いた作文で、目標としている人を一人選んでその理由を書きましょうとの課題であった。

その中に冒頭から「僕が目標としているのは、ぼくのおじいちゃんです」中略……

とにかく「おじいちゃんはスーパーじいちゃん」とぼくは尊敬しています」と結んでいる。

息子一家は5分くらいの近くに住んでいて毎日曜日に半日程度一緒にいるので、じじとはばを良く観察していたのだなと感心する。

伸び盛りの孫、小五男と小三男はいろいろと挑戦してくる。サッカー、野球、将棋、囲碁、ゲームと。じじは昔操った杵柄で容赦せず頑張る。そう言えば、幼児の頃はよくスーパーじじと呼

## 「未知との遭遇から……」

佐藤 はるみ



私にとって、“未知との遭遇”ともいえる情報の公表調査活動がスタートして早2ヶ月、1回1回が緊張の連続で未だに同行研修の域を越えられません。

これまで調査に同行させて

頂いた先輩調査員の皆様方の当意即妙な調査活動(豊かな経験に裏打ちされた)に触れ、毎回唯々感心するばかりです。

一万人市民委員会の理念である「介護の社会化の進化」に微力ながらお手伝いさせて頂ける機会を得たことをうれしく思う一方で、私が皆さんのような調査員になれる日がいつ来るのだろうか?と、今は不安でいっぱいです。

介護保険制度改正により運営上の諸問題が浮き彫りとなってきた今、介護サービス現場からは、悲鳴にも似た声が、しばしば聞こえる昨今です。そのような現状を十分に理解し、“現場を少しでも元気づける調査”を私の調査活動の目標として、1日でも早く一人前の調査員になれるよう努めていきたいと思ひます。どうぞよろしくお願いたします。

ばせていた。

おこづかいは成果に基づいて「数独クイズ」の正解に応じて一問毎に与えている。(厳しいかもしれない)

孫の作文の中で「ぼくは年をとっても生きられる人、百才になっても知識のある人になれるらいいと思ひます」と書いてある。

ドキッ! 不安がよぎります。孫の目標になり続けられるかな?でも百才は無理でしょう。じじは小市民的願望で程々の健康・程々の緊張感(社会参加)・程々の気楽さで余生を全うしたいだけです。

でも!! スーパーじじは、介護調査員として今日も行きます!!

地域包括ケアシステムの導入に向けて、各団体が地域での拠点づくりを進めています。その状況を紹介します。

**「ほっとサロン将監」  
にお邪魔しました。**

「ほっとサロン将監」は仙台市泉区将監に、地域の「居場所づくり」として2015年6月25日にオープンしました。市民と仙台市担当課との協働による「ふれあい、支え合いのまちづくり推進事業」である仙台市市民協働事業提案制度に応募し採用されました。

1998年に将監地区の高齢者で食事の支援を必要とする人に、夕食のお弁当宅配サービスを行っていた「けやきグループ」(代表齋藤幸子)と、2013年に仙台市内で福祉サービスを提供する13の団体がネットワークを結成し立ち上げた「NPO 福祉ねっと宮城」(代表中村祥子)と共に、住民参加型福祉拠点として将監地区で運営をスタートしました。

「ほっとサロン将監」は「憩いの家」(将監8丁目)で、毎週木曜日の10時半から14時半迄開催され、気楽に好きな時間に行けて帰る時間も自由です。

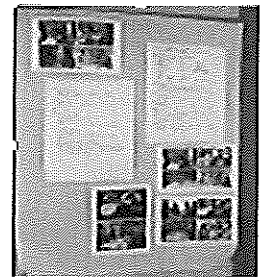
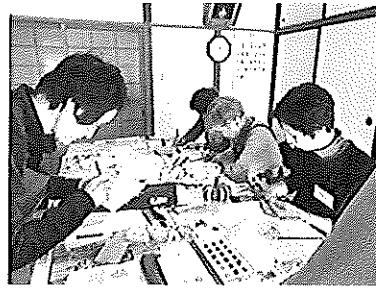
参加費は100円で、珈琲・紅茶・お茶はお代わり自由です。希望すれば「けやきランチ」が400円で食べられ、持ち込みも可能です。手作りの日替わりランチは美味しい上に、料理に細やかな心遣いを感じられる絶品です。ある日のメニューは、「さんまの佃煮、鶏肉とピーマンの炒め物、ご飯、味噌汁、漬物」、「甘塩銀鮭、こまごま煮しめ、ご飯、味噌汁、漬物」、「ミートローフ、ポテトサラダ、ご飯、味噌汁、漬物」でした。



絵手紙づくり



手品披露



「皆さんの居場所」「出会い、学びの場」として、利用者同士でお互いのアイディアを出し合いながら得意分野を発揮しています。訪問した日は、クリスマスカード作りをしていました。「認知症サポーター養成講座」「折り紙」「コミュニケーション麻雀」「手品の披露」「ハーモニカ演奏」「介護予防体操」など、その日に応じて柔軟に行っています。大笑いしたり、感心したり、会話を楽しみながら交流を深めています。

ベビーカーを押した若いママがフラッと立ち寄った時、生後6か月の赤ちゃんがみんなを笑顔にしてくれました。庭に咲いている花を持ち寄り、さりげなく飾ってあるのもホッと心が和むひと時です。

世話人の藤田佐和子氏が、「徐々に地域に浸透してきており、これまで利用した人とボランティア合わせて10月現在で延 300 人以上の方々が集った。地域にこのような拠点があると自然とつながりが出来る。時間はかかるが、将来は地域に必要な見守りや安否確認を視野に入れている」と話してくれました。高齢者限定ではなく、地域住民にも参加してもらい交流を深めたいということです。今後のご活動に期待します。



食事風景

「共助・公助」から「自助・互助」へ！地域包括ケア「千里の道も一歩から」

# ～高齢者複合施設見学～

## リブレ松川

- ◇グループホーム ◇デイサービス
- ◇居宅介護支援事業
- ◇小規模多機能型居宅介護事業
- ◇サービス付き高齢者向け住宅
- ◇地域交流スペース
- ◇配食サービス

12月8日(火)に「リブレ松川高齢者複合施設」を4人で訪問し、見学させていただきました。

東北自動車道松川ICより車で5分程で、福島市松川町の美郷ガーデンシティの住宅地に位置する。

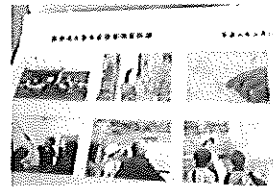
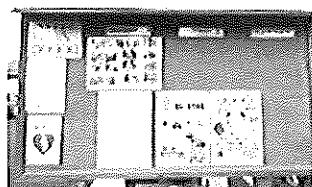
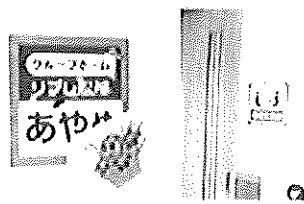
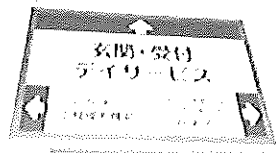
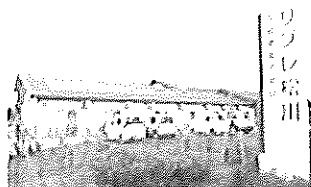
(株)リブレが法人で、施設は平成24年4月1日に設立された。外観からは木造の一部2階建ての一つの建物に見えるが、中は「グループホーム」(定員18名)、「小規模多機能型居宅介護」(登録定員25名)、「デイサービス」(定員10名)、「居宅介護支援事業」、「サービス付き高齢者向け住宅」(定員18名)、地域交流スペースと別れている。

介護認定を受けた方へ昼と夜の配食サービス事業も運営し、職員が手渡しで安否確認も兼ねている。地域包括システムを取り入れた複合施設であり、12月1日からは24時間対応の定期巡回、随時対応型サービスにも取り組んでいる。

明るくゆったりとしたスペースの施設内は全館床暖になっている。滑りにくい手すりや、ソファと隠れ家のようなベンチが所々に設置される等々、利用者が居心地良く過ごせるような工夫がされている。それぞれの施設が廊下でつながり自由に行き来出来るので総合的な交流が可能で、職員と利用者同士も顔馴染みになっている。

廊下には職員の名前と顔写真と共に役職が掲示されている。トイレは、車椅子利用者の対応が楽に出来る広いスペースが確保されている。各施設に浴室があり家庭用の浴槽と、機械浴も可能です。洗濯物の乾燥室が設置されている。

施設の玄関の隣にもう一つの玄関がある、「コ



「コミュニティルーム」は地域の人が自由に入出りし易いよう配慮されている。更に、サービス付き高齢者向け住宅内にある「地域交流室」は地域の人でも多目的に利用出来る。地域に回覧をし、ここで12月27日に「あなたの力を地域のために！ 高齢者の人や認知症の人への支援の研修会開催」が予定されている。地域の交流の場として毎月開催している「オレンジカフェ こらんしょ」は、12月で14回の開催となった。

福島市では初めての試みとして、年2回「美郷地区認知症徘徊模擬訓練」に、地域の人も100名程参加して、模擬とは思えない真剣な訓練が行われている。

福島市と地域福祉避難所の協定を結び、40～45名程度の受け入れが可能で食料や備品等の準備もある。2階の天窗の一部が開閉できる。万一火災が発生した場合の排煙装置がある、また2階から避難する場合に備え、建物の両側に非常階段を一方には滑り台も設置されている。

## 賛助団体会員事業所紹介

当会の活動に日頃よりご支援、ご協力をいただいております賛助団体会員様の事業所のご紹介をシリーズでお送りいたしております。(あいつえお順)

本内容は、各特別養護老人ホーム様から項目にそった概要をご提示いただき、その原稿をそのまま紹介させていただきます。

なお、詳しくは次の URL:Welcome,Donto! <http://www.donto.co.jp/> をご覧ください。

「共助・公助」から「自助・互助」へ「地域包括ケア」「千里の道も一歩から」

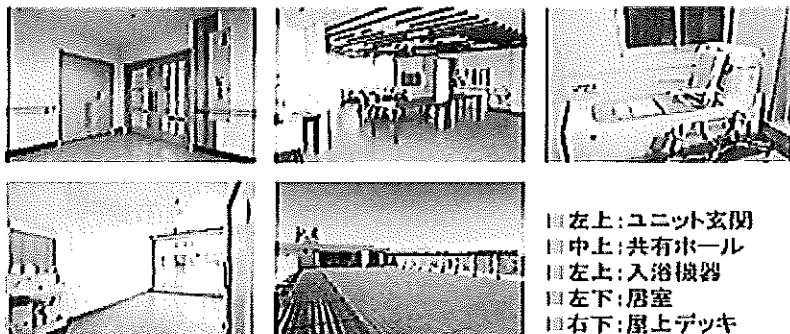
### 特別養護老人ホーム

#### 泉音の郷

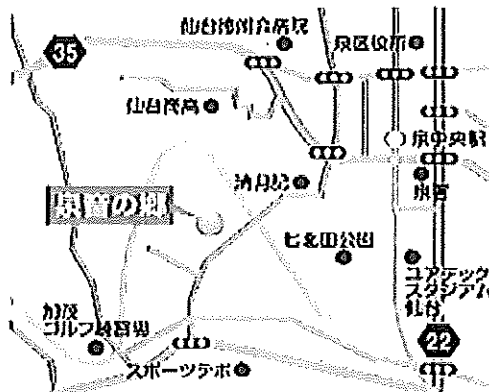


- 経営主体 社会福祉法人 愛泉会
- 所在地 宮城県仙台市泉区泉中央南15番地
- 電話・FAX TEL 022-347-3371 FAX 022-347-3373
- 開設年月 平成26年12月1日
- 居室改修
- E-mail [aennonosato@aisenkai.or.jp](mailto:aennonosato@aisenkai.or.jp)
- URL <http://www.aisenkai.or.jp>

#### 施設紹介写真



- 左上: ユニット玄関
- 中上: 共有ホール
- 右上: 入浴機器
- 左下: 居室
- 右下: 屋上デッキ



#### 入居定員

定員別	個室	2人	3人	4人	その他	居室合計	入居総定員
部屋数	100室	0室	0室	0室	0室	100室	100名

各ユニットに談話室(1~2室)があり、面会時にご利用できます。

入居総定員: 長期利用80名 短期利用20名

#### 職員体制

■ 1 : 1.85

#### 利用料等概要

居室使用料	居住費1,970円(ユニット型個室)
食事費	1,380円
光熱水費	居住費に含まれます。
その他	
月額合計	要介護度4想定 129,000円程度(1割負担対象者) ※介護度・利用者負担段階により変わります。

#### 施設の特徴

東日本大震災により、大規模な被害を受けた「特別養護老人ホーム潮音荘」は、平成26年12月に「特別養護老人ホーム泉音の郷」に改称し、七北田公園近くの泉中央南に移転新築しました。5階建ての建物は泉ヶ岳を望む立地に建てられており、希望の「望」と泉ヶ岳の「岳」とり、施設の総称を「望岳荘」と名付けました。泉中央からのアクセスも良く、季節毎に移り変わる景観を楽しめ、夏には5階の展望デッキや建物から地域のまつりの花火を楽しむことができます。

「社会福祉法人 愛泉会」は地域において身近で必要とされる法人となり、地域との交流を大切にする事で、地域貢献を目指しております。建物内には、地域交流スペースやキッズスペースを作り、介護予防教室などの健康講座の開催や地域の発表会などへのスペースの提供を行っております。今後、地域ボランティアによる喫茶スペースなども地域コーディネーターが中心となり計画しております。



## 第4回理事会模様

★2015年11月13日(金)、仙台市生涯学習支援センターにおいて、理事総数19名中13名出席のもと第4回理事会が開催された。

(台風のため11日開催を変更)

☆議題は次のとおり

- 1、会員の近況について
- 2、成年後見人の取組みについて
- 3、介護サービス情報の公表の調査活動について
- 4、地域密着型サービスの外部評価活動について
- 5、福祉サービス第三者評価の評価調査活動について
- 6、諸会議、研修会などの参加状況と今後の計画について
- 7、残高試算表に(10月末)について
- 8、広報、組織、総務関係の活動について
- 9、第5回理事会の開催日程について

平成28年1月14日(木)13:00から

石巻市総合福祉会館にて開催

10、その他

※総会、理事会の議事の詳細については事務局備付けの議事録を閲覧できます

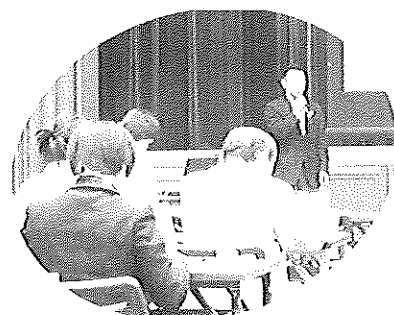
## フォローアップ研修

### 宮城県・地域密着型サービス 外部評価調査員研修

◆平成27年度地域密着型サービス外部評価調査員フォローアップ研修が10月19日(月)宮城県庁講堂で開催されました。午前中はNPO法人地域生活サポートセンター事務局長平林景子氏の講演、午後からは平林氏の講演に引き続き、外部評価機関と事業所の取組み状況の発表が行われました。

当会からは荒井副代表理事が一万市民委員会の取組み状況について報告されました。

その後、事業所及び評価機関の取組みについてのグループワークにより活発な意見交換が行われました。

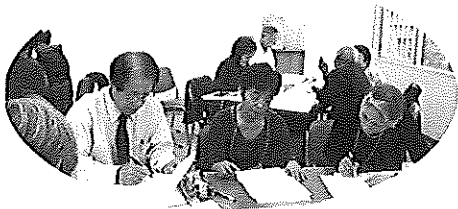
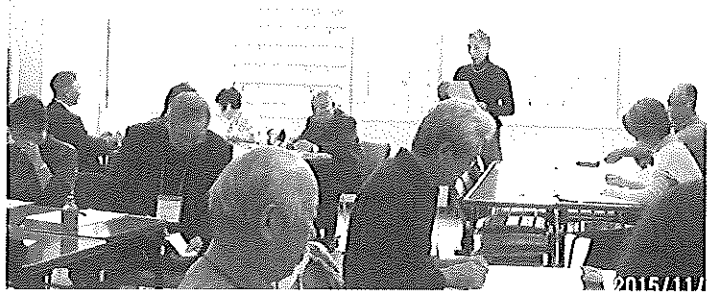


フォローアップ研修

一万人市民委員会  
・地域密着型サービス  
外部評価調査員研修

◆第2回地域密着型サービス外部評価フォローアップ研修(一万人市民委員会)が11月17日(火)に仙台市生涯学習支援センターで開催されました。

・平成27年度介護報酬の基本的な考え方、平成27年度改訂地域密着型サービス外部評価ガイドライン、評価委員会だよりの解説・周知の後、グループワークを行い終了した。



市民後見人研修講座

一万人市民委員会宮城  
・市民後見人研修講座  
・認知症サポーター養成講座

◆平成27年度一万人市民委員会宮城・市民後見人研修講座が12月5日(土)仙台市生涯学習支援センターで開催されました。

・佐藤年夫理事の「成年後見受任者を経験して」から始まり安田廣治司法書士の「成年後見制度」全般にわたる講義の後、榴岡地域包括支援センターの塩田所長、物江看護師の「認知症高齢者の基本理解」で終了した。

・各講座終了後、修了証書と認知症サポーターオリガリングが授与されました。



「共助・公助」から「自助・互助」へ  
「地域包括ケア」千里の道も一歩から

2015年度 事業活動状況

◆福祉サービス第三者評価調査

・ウインズの森 離宮 8月調査実施。

\*公表結果は「万人市民委員会宮城ホームページ」  
(<http://www.ichimannin.com>)をご覧ください。

◆介護サービス情報の公表訪問調査

介護サービス情報の公表訪問調査

9～12月実施 合計: 298施設

介護サービス情報訪問調査を9月から開始しました。

・介護老人福祉施設	: 7	施設
・訪問介護	: 43	施設
・訪問入浴介護	: 3	施設
・福祉用具貸与	: 19	施設
・居宅介護支援	: 49	施設
・介護療養型医療施設	: 1	施設
・特定施設入居者	: 4	施設
・通所介護	: 96	施設
・訪問看護	: 12	施設
・介護老人保健施設	: 9	施設
・通所リハビリテーション	: 12	施設
・訪問リハビリテーション	: 2	施設
・認知症対応型共同生活介護	: 33	施設
・小規模多機能型居宅介護	: 7	施設
・複合型サービス	: 1	施設

\*公表結果は、<http://www.kaigokensaku.jp/Tbn>をご覧ください。

◆地域密着型サービス評価調査

・認知症対応型共同生活介護(グループホーム): 73施設

地域密着型サービス外部評価を7月から開始しました。

\*自己評価及び外部評価結果は、ワムネット  
<http://www.wam.go.jp>をご覧ください。

明けましておめでとうございます。

昨年は大変お世話になりました。

本年もよろしくお願ひします。

～～～ 事務局一同 ～～～

―― 事務局が近くなりました！ ――

去る12月6日の地下鉄東西線の開通により、「宮城野通駅」下車北1番出口(コアテック本社前)から徒歩5分と大分近くなりました。

今までにも増して事務局へお越し下さい。お待ちしております。

◆よろず相談会のご案内

身近な困りごと、悩みごとなどの相談会を当会顧問の武田貴志弁護士、安田廣治司法書士を相談役に、両先生から法律、成年後見関係の分野に限定せず、よろず相談会として、会員の方やそのご家族がお持ちの生活全般、法律相談などに関する「なんでも」相談していただく会です。(無料です)

時間と場所は次のとおりです。

\*時間: 午後1時～3時(毎回)

お一人様1回30分程度を予定

\*場所: テルウエル相談室(万人市民委員会宮城事務所隣り)

\*受付電話: 022-293-8158

FAX: 022-293-8230

申し込み締切日は開催日の7日前としますがそれ以降でも有りましたら、連絡願います。

お気軽に相談願います。

☆開催日程(28年1月～28年4月)

- ・1月20日(水) 相談役 安田廣治司法書士
- ・2月17日(水) 相談役 武田貴志弁護士
- ・3月16日(水) 相談役 安田廣治司法書士
- ・4月21日(木) 相談役 武田貴志弁護士

◆成年後見センターのご案内

「万人市民委員会宮城成年後見センターみやぎ」を立ち上げました。

- ・最近物忘れが多く通帳やお金の管理ができなくなってきた
- ・一人暮らしで日常生活や身の管理など不安
- ・介護サービスを受けたり病院を受診するのに必要な契約や手続きが一人ではできず不安
- ・離れて暮らしている親の判断能力が低下してきている

このようなことで、成年後見制度をご利用されたい場合は当センターへお気軽に相談下さい。

【受付時間】

・月～金(土・日・祝日を除く) 9:00～17:00

【受付電話】

・電話: 022-293-8158



**今朝のウォーキングを始めて**  
**理事 阿部 武治**

東日本大震災が発生してから四年半以上が経過し、石巻の居住形態も避難所から仮設住宅、そして復興公営住宅へと移行し、町並みも復旧、復興する中、健康維持とボケ防止予防(?)を兼ねて、四月より早朝ウォーキングを実施している。

自宅より足の向くまま、住宅街や貞山堀、沿岸部を歩いて復興状況を見たり、四季折々の移り変わりを肌で感じながら歩いている。そして多くの住民の歩く姿を目にする。一人だったり、夫婦だったり、一人黙々とランニングだったり、犬を連れてのんびり散歩だったり又高齢の女性二人で楽しそうに話しをしながら歩いている姿等を見かけている。

ウォーキングは、いつでも誰でも手軽に出来て、お金のからからない有酸素運動である。皆さんも早起きをし、自然を満喫してはいかがで

**【編集後記】**

\*会員間の理念の共有、紙面を通して相互の一体感やコミュニケーションを図る事を目的に、いかに伝え知らせるかを問いかけながら編集を続けています。

お手元に届くまで①企画、編集会議→伝えたいこと・知りたいこと・今、必要とされる情報を(そのとき心はアレアレ・ソレレ・ナニナニ・ガヤガヤ)②取材、原稿依頼(ご協力感謝申し上げます)→(ワイワイ・イロイロ)③制作→紙面割り、レイアウト(キラキラ・オロオロ)④校正→(ハラハラ・ジロジロ)⑤印刷→(ヤレヤレ)⑥配布→感想にドキドキ、できれば最後はニコニコと決めたい!というプロセスです。

編集に興味・関心のある方、会報作りを一緒にしませんか?お待ちしております。(荒井)

\*読んでもらってますでしょうか?今年も読んでもらえる紙面作りにハゲみますので宜しくお願いします。(かねひら)

しょうか? 今日この原稿を書きなから、夜明けを待って「今日も歩いてくるぞ」と心を奮い立たせている。これから健康的長寿を目指し、毎朝楽しくウォーキングを続けたいと思

\*人の究極の幸せとは、「愛されること・感謝されること・役に立つこと・必要とされること」だという。私が一日の終わりに書く日記帳に、その日にあった事柄の「〇〇に感謝!」とよく記す。「小さな幸せに感謝!」しつつ、生かされている今日を大切にしていきたい。(栗原)

\*月日の経つのは早いもので、編集委員となって3回目のお正月を迎えます。「読みました。良かったです!」と聞くと嬉しくなります。失敗もあり、新たな発見もありの連続でした。12月に南相馬にある「奇跡のパ

ワースポット円明院」へお参りに行き、運氣好転の大聖地でエネルギーをチャージして来ました。今年もどうぞよろしくお願い致します。(前田)

\*漫画家 故水木しげる氏の「幸福論」がクローズアップされている。そこには、「幸福の七ヶ条」が示されており、その中で「月の力を信じる」を論じている。昔 多感期に母から言われた言葉を思い出す「おてんと様は皆お見通しだからね」を再認識する昨今である。(團)



特定非営利活動法人  
 介護の社会化を進める  
 市民委員会 一万人市民委員会宮城県民の会

〒983-0852  
 仙台市宮城野区榴岡4-2-8 テルウエル仙台ビル2階  
 Tel:022-293-8158 Fax:022-293-8230  
 ホームページ:http://www.ichimannin.com  
 Email:ichimannin@alpha.ocn.ne.jp

編集委員: 荒井勝子 兼平幸雄 栗原節子 團 順子 前田奏子